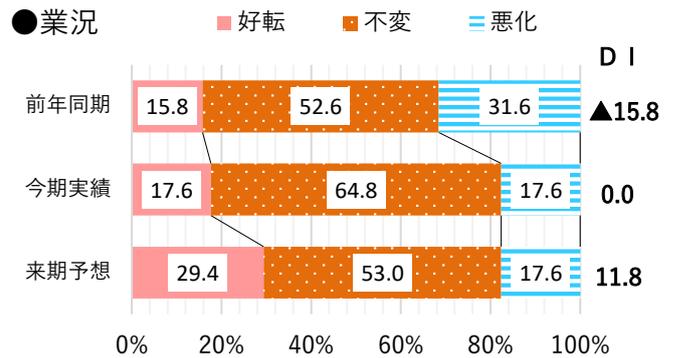


卸 売 業

業況、売上、採算

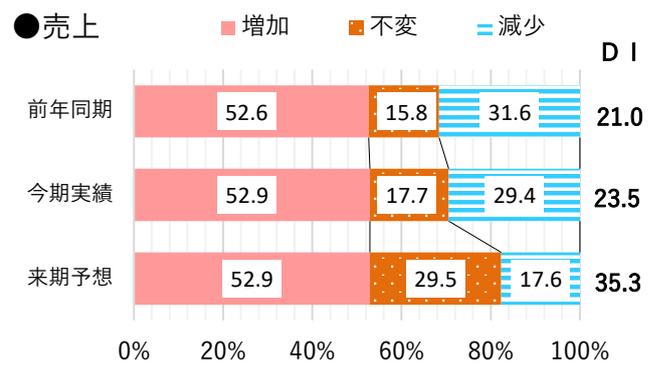
今期(2022.4~6)の業況判断DIは0.0で、前年同期(2021.4~6)と比べ15.8ポイント上昇しました。

来期(2022.7~9)は、業況がプラスに転じると予想しています。



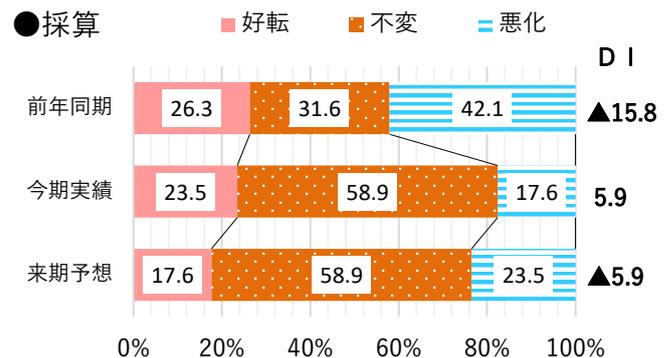
今期の売上DIは23.5で、前年同期と比べ2.5ポイント上昇しました。

来期は、売上の増加傾向が続くと予想しています。

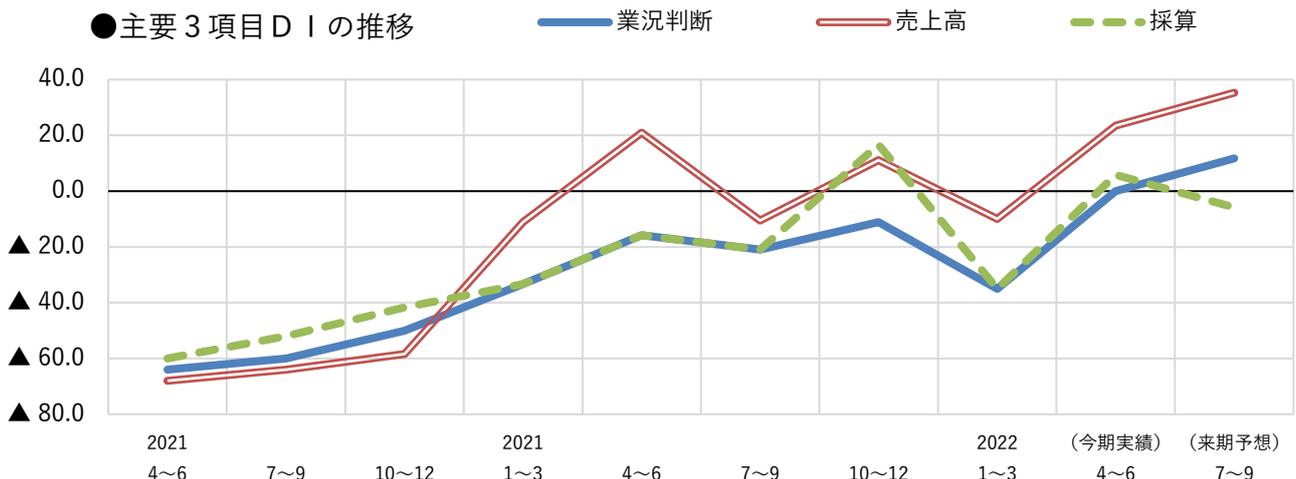


今期の採算DIは5.9で、前年同期と比べ21.7ポイント上昇し、プラスに転じました。

来期は、採算がマイナスに転じると予想しています。



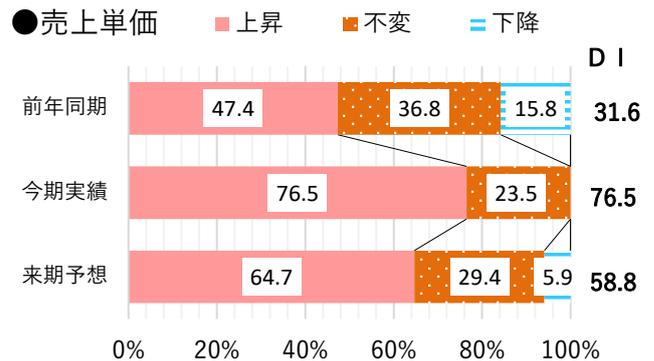
●主要3項目DIの推移



売上単価、商品仕入単価

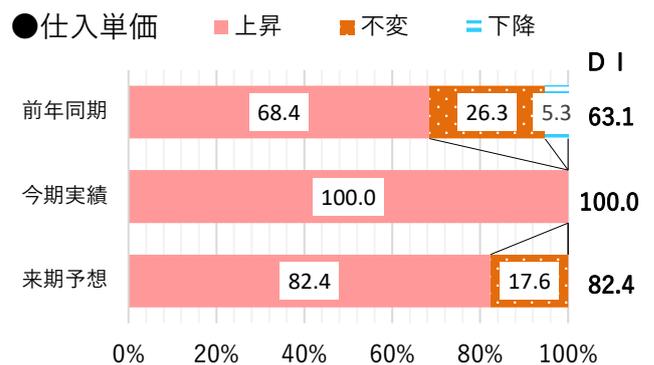
今期の売上単価DIは76.5で、前年同期と比べ44.9ポイントと大幅に上昇しました。

来期は、売上単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



今期の仕入単価DIは100.0で、前年同期と比べ36.9ポイントと大幅に上昇しました。

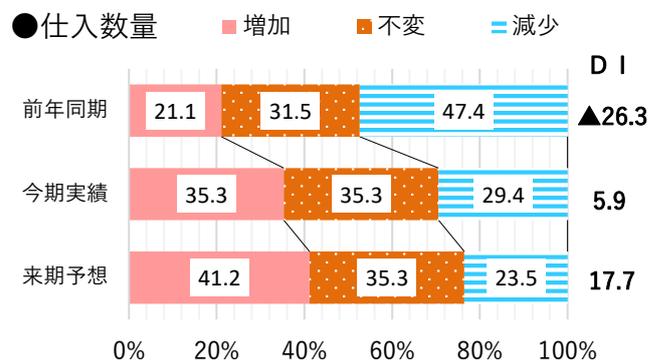
来期は、仕入単価の上昇傾向が弱まると予想しています。



商品仕入数量、商品在庫数量

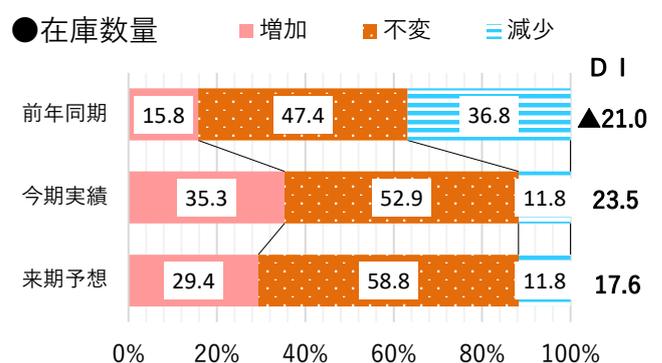
今期の仕入数量DIは5.9で、前年同期と比べ32.2ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

来期は、仕入数量の増加傾向が強まると予想しています。



今期の在庫数量DIは23.5で、前年同期と比べ44.5ポイントと大幅に上昇し、プラスに転じました。

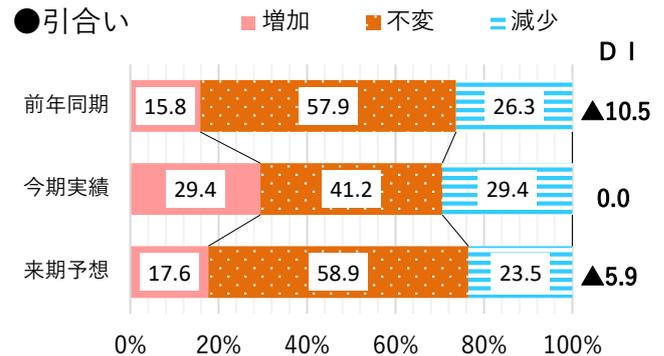
来期は、在庫数量の増加傾向が弱まると予想しています。



引合い

今期の引合いDIは0.0で、前年同期と比べ10.5ポイント上昇しました。

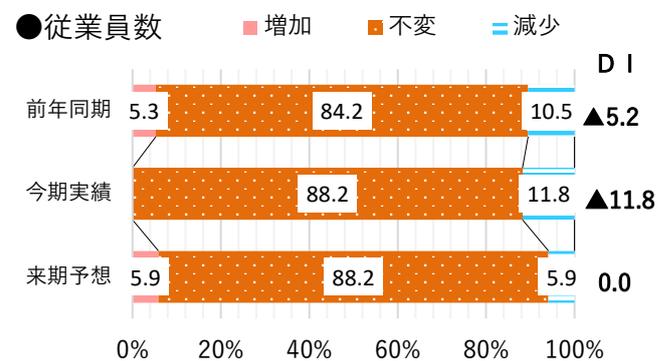
来期は、引合いがマイナスに転じると予想しています。



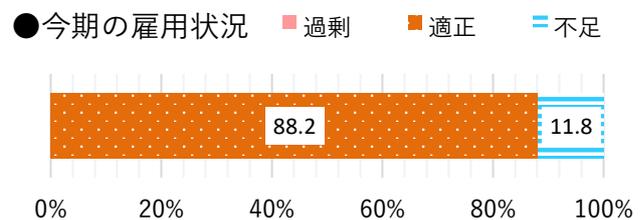
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは▲11.8で、前年同期と比べ6.6ポイント低下しました。

来期は、従業員数の減少傾向が弱まると予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は88.2%、不足していると回答した企業の割合は11.8%でした。



従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」という回答で、卸売業全体の88.2%を占めています。

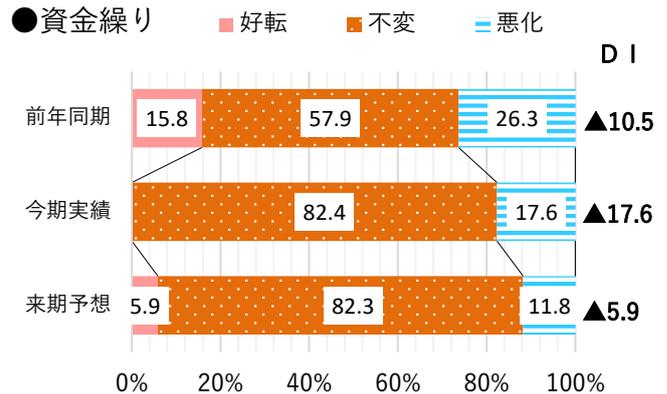
次いで多かったのは「従業員数は前年同期比で減少し、不足している」という回答でした。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	0
	不足	0
不変だった	過剰	0
	適正	15
	不足	0
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	2

資金繰り、設備投資

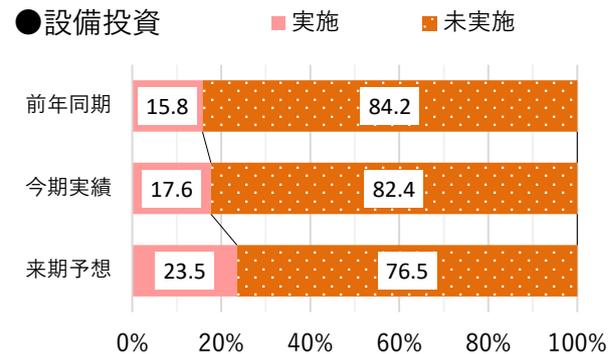
今期の資金繰りDIは▲17.6で、前年同期と比べ7.1ポイント低下しました。

来期は、資金繰りの悪化傾向が弱まると予想しています。



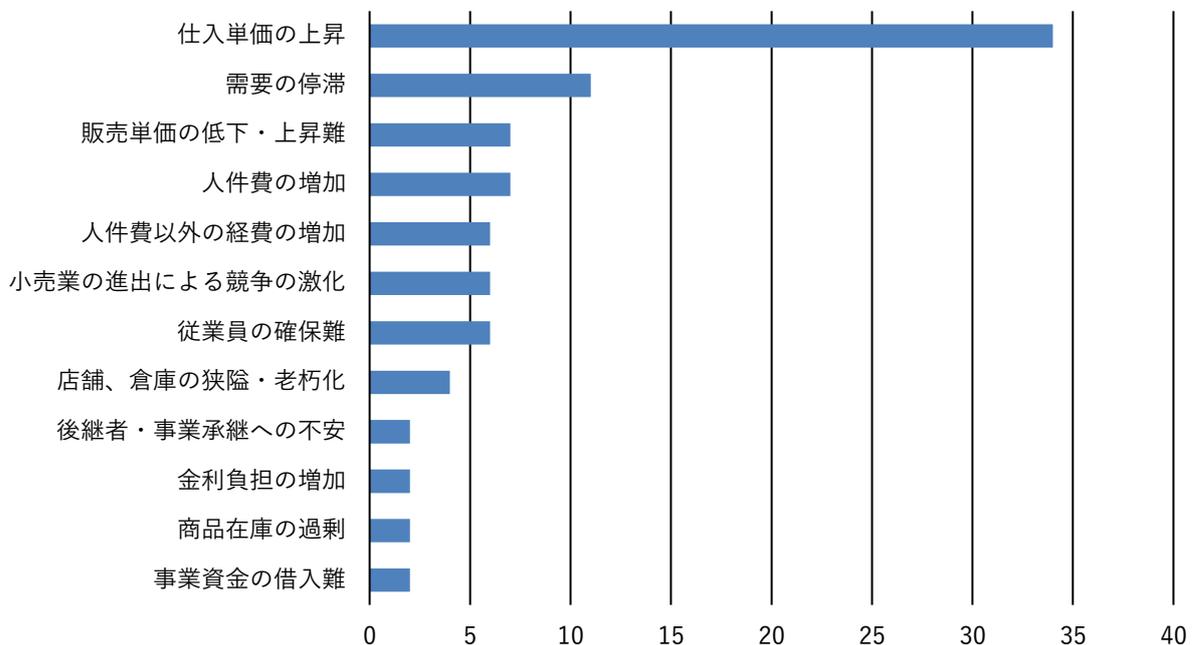
設備投資を実施した企業の割合は17.6%で、前年同期と比べ1.8%増加しました。投資内容は1位が「車両運搬具」、2位が「倉庫」でした。

来期に設備投資を計画している企業の割合は23.5%で、増加を予想しています。



経営上の問題点

今期直面している経営上の課題は1位が「仕入単価の上昇」、2位が「需要の停滞」、3位が「販売単価の低下・上昇難」、「人件費の増加」（同位）の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 原油価格が上昇したため、販売価格を引き上げたが、転嫁しきれていない。(石油卸売)
- 雪害による改修工事が例年より多く、引合いが来ているが、小さな仕事が多い。資材の仕入価格の断続的な上昇を受け、各種品目を値上げした。(建築材料卸売)
- セメント、生コン、鋼材、骨材等各種製品が値上がりし、対応に追われている。(建築材料卸売)
- 半導体不足で自動車が減産となり、売上が減少した。コロナ禍の早期終息を願う。(自動車部品卸売)
- 売上単価の上昇により販売数量は減少したが、売上は増加した。ただし、仕入価格の上昇分を完全に転嫁できている訳ではないので、喜べる状況ではない。(鉱物・金属材料卸売)
- 多少人出が増えたが、小売店および飲食店の客足も今一つ伸びておらず、厳しい状況にある。仕入価格の大幅な上昇が続き、先が見えず、対策できていないことが業績の低迷を招いている。(飲食・飲料卸売)
- 原油価格の高騰を受け、各メーカーの値上げが続いているが、価格転嫁ができていない。(包装資材)
- 仕入単価が上昇傾向にあるが、価格転嫁は比較的できているため、売上は増えている。(塗料販売)

[来期の業況について]

- 原油価格の安定を予測する。(石油卸売)
- 断続的な仕入価格の上昇に加え、一部品目の欠品や納期の遅れが生じているため、今後の工事が予定通り進むのか心配している。(建築材料)
- 全ての資材が値上がりする状況が続くと思われる。(建築材料)
- 販売単価がさらに上昇するが、その分販売量も減少し、苦戦すると思われる。(鉱物・金属材料卸売)
- ウクライナ侵攻と円安が続く限り、仕入単価は上昇する。今後も価格転嫁できるか不安だ。(塗料販売)